

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|----|-----------------|
| ○事業所名 | ジョイールワオさくさべ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年2月3日 | | ～ 2026年2月15日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 21 | (回答者数) 15 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年2月3日 | | ～ 2026年2月15日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4 | (回答者数) 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年3月2日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---------------------------------------|---|
| 1 | 子ども一人ひとりの特性を理解し、関わろうとしている。 | 子ども一人ひとりの特性や、その日の様子を見ながら、関わり方を工夫している。 | 子ども一人ひとりに合った支援ができるよう、職員同士の情報共有を更に大切にしていきたい。 |
| 2 | 保護者とのコミュニケーションを大切にしている。 | できたことや頑張っていることを、しっかり褒めるようにしている。 | 子どもへの関わり方をより良いものにしていくため、学び、情報共有を続けていきたい。 |
| 3 | 子どもの気持ちや考えに寄り添う姿勢をもっている。 | 子どもの話を聞ける時間をつくり、個々のお話をしっかり聞くようにしている。 | 出来ない所を見るより、出来ること・できそうなことに目を向けるように意識する。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 時間帯によっては、職員が忙しくなるので、もう少し余裕を持って子どもたちと関われる体制があるといいと思う。 | 時間帯によっては、職員数に対して、子どもたちの人数が多くなるため、ゆっくり関われない。 | 職員同士で常に情報共有を行い、子ども一人ひとり合った支援が出来るようにしていきたい。 |
| 2 | 活動のバリエーションが増えると、もっと子どもたちが楽しめるとおもう。 | 子ども一人ひとりの特性が違うため、全員に合った活動を準備することが難しいと感じることがある。 | 活動内容の工夫をしていく。 |
| 3 | 忙しい時に、情報共有が十分に出来ないことがあるので、改善の余地がある。 | 子ども達のその日の様子を配慮して関わろうとすることに注視し過ぎて、その日の状況に対応できていない。 | 忙しい時こそ落ち着いて支援や活動ができるように、準備や事前打ち合わせを充実させる。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ジョイール本千葉

公表日 2026年3月30日

利用児童数 21

回収数 15

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------------------------------|---|----|---------------|-----|-------|---|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 10 | | | 5 | 作草部にしか行かないので千草台の方は不明です。 | 適切なスペースの確保をして療育を行っていきます。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 10 | | | 5 | 誰が辞めて誰が新しく入ったのか、誰が作草部で誰が千草台なのか不明です。 | 詳細なご報告なく、ご不便をお掛けしております。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 11 | | | 4 | スヌーズレンの使用はうちの子供には合うので助かる。 | スヌーズレンがより良いスペースになるよう、これからも試行錯誤してまいります。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 12 | | | 3 | 作草部では室内も片付けられていて清潔感があります。 | 常に清潔な環境の中で活動していただけるよう心掛けていきます。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 13 | | 1 | 1 | 以前から継続して携わっている先生方は子供の事をよく理解してくれています。 | 新しい職員と情報共有をしながら、一人ひとりのお子さんと向き合っていきます。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 13 | 2 | | | 以前から継続して携わっている先生方は子供の事をよく理解してくれています。 | |
| | 7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 13 | | | 2 | 以前から継続して携わっている先生方は子供の事をよく理解してくれていますし、支援計画等もよく作っていただけています。 | これからも、お子さんと保護者の皆様と向き合い、ニーズに合った計画を作成してまいります。 |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 11 | 2 | | 2 | 以前から継続して携わっている先生方は子供の事をよく理解してくれていますし、支援内容もよく考えて作られていると思います。 | これからも支援内容を具体的に、かつ実践的な支援に向けて計画設定を行ってまいります。 |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 12 | 1 | | 2 | 本人にあったプリントをやっている様子。 | 支援計画に沿った、活動を行ってまいります。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 11 | | | 4 | | |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 1 | | 5 | 9 | | |
| 点 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 9 | 2 | 1 | 3 | 新しい事業体制に移行して、運営の切り替わりに関する説明等が書面のみだったり、説明不足に感じる事が多くなってしまっている。ジョイールに変わってから対面での説明よりアプリでの説明が多くある。 | 事業体制が変わり、説明不足があった点は申し訳なく思っております。アプリだけではなく、面談やお電話での説明もできますので、ご不明点がございましたらお申し出ください。 |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 10 | 2 | 2 | 1 | ジョイールに変わってから対面での説明よりアプリでの説明が多くある。文面で終わりの時もある。 | 保護者の皆さんとコミュニケーションをとりながら、お子さんのより良い育ちのため、支援をしていきたいと思っております。 |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 2 | 1 | 5 | 7 | | |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 15 | | | | 以前からお世話になっている先生方とは子供の状況、その日に行われた活動等送迎時に直接お話があります。アプリの方でも写真掲載でコメントがあります。 | これからも、口頭や写真掲載で、お子さんのご様子をお伝えしていきたいと思っております。 |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 11 | 1 | 1 | 2 | 以前より面談はない。 | 定期的な面談（ご希望によりお電話での面談）を行っております。定期的以外でも、ご要望がある場合や、事業所からお話がある場合などは、面談かお電話でもお話をさせていただいておりますので、何かありましたらお気軽にお申し出ください。 |

| | | | | | | | | | |
|----------|----|--|----|---|---|---|--|---|---|
| 保護者への説明等 | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 13 | | | 2 | 新しく来た先生方とは話をしたことがない。少し前までは新しい代表から叱る注意を受けることが多く、子供が反抗的に。無視する療育だそうですね。元々いる先生方はちゃんと受け止めてくれているので落ち着いてきている。荒れてないということは、無視する療育の方と関わることがなくなったのか、無視する療育がなくなったのか。 | 体制が変わり退職者も多かったことから、お子さんや保護者の皆さんには、ご不安な思いをさせてしまったこと、大変申し訳なく思っております。以前より在籍している職員・新しく配置された職員と協力しあい、お子さんのより良い療育の環境を整えて、お子さん一人ひとりと向き合っていく所存です。これからもご理解をお願いいたします。 | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 1 | | 7 | 7 | 父母の会に行ったことがないのでわからない(こちらの都合で) | 現在、保護者会などは開催できていません。 | |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 13 | 1 | | | 1 | その日あったトラブル等は送迎時に保護者へ共有されている。 | 相談やトラブルがあった場合は、迅速な対応と共有をさせていただきます。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 13 | 1 | | | 1 | 行って挨拶してくれるのも、子供の様子を話してくれるのも、前からいた先生方だけ。 | 全ての職員が対応していけるよう、徹底してまいります。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 10 | 2 | 1 | | 2 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 14 | | | | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 10 | 1 | | | 4 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 10 | | | | 5 | 避難訓練は定期的に行われています。 | 色々な災害を想定して、月一回の避難訓練を実施しています。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 12 | | | | 3 | | |
| | 26 | 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 11 | 1 | 1 | | 2 | 送迎時に口頭で説明してもらっている。送迎して下さるのは以前からいる先生方のみ。 | 事故やケガがあった場合、迅速に連絡し共有して対応させていただきます。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 13 | 1 | 1 | | | 退職者が一斉だったので、とにかく荒れていました。一応落ち着いてきているが元々の先生方が退職されたら別の所も考えている。 | 安心して通っていただけるよう、お子さんと職員間のコミュニケーションをとって信頼関係を深めていけるようにしていきます。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 11 | 3 | | | 1 | 子供が物凄く荒れ狂っていたが少し落ち着いてきてきているので今の環境に慣れてきたのかと思う。今後の保証はない。 | これからも楽しく通えるよう試行錯誤していきます。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 11 | 3 | | | 1 | 子供の支援に対しては満足していますが、運営や事務処理等に関してはもう少し詳しい説明がほしいと思う時があります。以前のワオの樹のほうが良かった。本当にそればかりが残念でならない。 | 貴重なご意見をありがとうございます。ご理解いただける事務的なご説明をどの様に改善していくか検討課題とさせていただきます。新しくジョイレーに変わり、WOWの樹の良い所、ジョイレーの良い所を新事業所に生かしていけるよう職員一同尽力します。 |

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ジョイールワオさくさく

公表日 2026年3月30日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|----------|----|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4 | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 2 | 2 | | ・病気などで急にお休みになった時に不安あり ・改善点、目を離せない子どもが多く基準人員では危険 ・ヒヤリハットや注意する点など職員間で共有し安全対策をしていく。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | | ・玩具や筆記用具など分かりやすく置いている ・おもちゃ等子どもから見やすくなっている ・5センチほどの玄関の段差については、子どもたちにも周知した上で、クッションになるマットを敷いて対応している | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 3 | 1 | ・清掃は頻繁に行なっている | ・手を洗う際、水しかでないで嫌がったり、手の先しか洗わない子がいるので温水にできるというのが、現状は難しい。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | | ・スヌーズレンもあり子どもは自由に使っている | ・スヌーズレンの活用方法を学び、更に良いスペースにしていく |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 3 | 1 | ・話し合いの場が多くある ・朝会、昼会で話し合う機会がある | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 2 | 2 | ・職員間で保護者の意向について話し合っている | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | | ・ミーティングなどで話し合いその都度改善している。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 4 | | ・現在は行っていない |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 4 | | ・研修のプログラムを作り行っている | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 4 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 4 | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 4 | | ・支援についての振り返りや見直しなどについても、職員全体で話し合いをしている | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 4 | | ・話し合いの場を、多く設けている | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 3 | 1 | ・アプリ（HUG）を活用し確認・共有している | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 4 | | ・子ども毎の支援について、職員間で話し合い、立案し実施している | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 2 | 2 | | ・固定化しないよう、案を出し合っていく |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|-----------------------------------|
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 3 | 1 | | ・小集団活動を再開し取り入れているが、見直しを行う |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | | | ・役割分担について、話し合いを進めている |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 3 | 1 | ・支援に関わった子どもの情報を共有し、支援に活かすようにしている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 3 | 1 | ・HUGを活用している | |
| | 23 | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 3 | 1 | | ・今後、職員への共有を見直しに行く必要がある |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 4 | | | ・複数の取り組みを合わせるよう努力しているが、更なる改善をしていく |
| 関係機関や保護者との連携 | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 4 | | ・何でもとりえず本人に任せてやらせている ・子どもと話し合い自ら選択できるようにしている ・自己決定ができる育ちにつながる自己選択ができる環境を整えることを心掛けている | |
| | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 4 | | ・児発管が出席している | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 2 | 2 | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 4 | | ・学校とのアプリ、親御さんとのLINEで連絡している | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 2 | 2 | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 2 | 2 | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 2 | 2 | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | 4 | | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | | 4 | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 4 | | ・HUGや送迎時にお会いした際にその日の事を細かく説明している | |
| 保護者への | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | 4 | | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 3 | 1 | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 4 | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 4 | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 4 | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | | 4 | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|---------------|
| 説明等 | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 4 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 3 | 1 | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | 4 | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | | ・曜日を変えて色々な子どもが参加できるようにしている | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 4 | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | | ・アレルギーのある子はおやつを持参してもらっている。 ・事前に聞いているが、心配な時は親御さんに確認する | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 3 | 1 | | ・今後家族等に周知していく |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | | ・ヒヤリハットは事業所内だけでなく社内共有し、色々な事案について検討を行っている | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 3 | 1 | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 3 | 1 | | ・身体拘束は行っていない |